

2025.10.29 後期課程を探検だ！

好きな遊びの中で、園庭やテニスコートでいろいろな石を見つけたり、石を光に当てて光りの具合を楽しんだり、園外保育で出かけた恐竜博物館で宝石や化石を見たことで、宝石や化石に興味をもち始めたりした5歳児。その後、義務教育学校後期課程で、様々な石や生き物たちを見せていただけるということで、みんなで後期課程に行ってきました。後期課程に到着すると、玄関では後期課程の理科の先生方がお出迎えをしてくださいました。まず、子供たちの目に飛び込んできたのは大きな大きなすっぽん。「でっかい爪しているね！」「見てみて、ギザギザの歯もあるんだよ」と大きなすっぽんと出会って大興奮の子供たちでした。興奮した気持ちが膨らむ中、3階まで登った先に連れて行っていただいた教室には、小さめのすっぽんやミシシッピアカミミガメ、イシガメといった生き物たちや様々な石がきれいでレイアウトされていて、その素敵な環境に呼びかけられるかのように、目が輝いていきました。それぞれの子供たちが自分の好きなものを見つけると、「すっぽんが鼻から水をぴゅっと出したよ」「この石、釘がくっつくんだって！」「アンモナイトの化石だ！アンモナイトって成長すると2mくらいになるのもいるんでしょ！？」など、じっくりと観察したり質問をしたりしました。また、北陸新幹線の線路を作る際に地盤調査で採取した岩盤の試料も見せていただき、初めて見たり聞いたりする世界に興味津々の子供たちでした。

3階の教室から下に降りるときには、7年生から9年生の教室の廊下を通りながら、学校探検をしました。どんな授業をしているのか教室の中に入らせてもらったり、美術室では授業で作った作品を見せてもらったりしました。7年生の英語の授業では、お兄さんが英語で自己紹介をしてくれ、子供たちが英語で答える姿もありました。また、ALTの先生に「どうして外国人の先生もいるの？」と質問を投げかけ、はじめての人との出会いを楽しむ時間となりました。理科室では、ワニの剥製に触らせてもらい、「これって本物！？中には何が入ってるんだろう」「背中はごつごつしてるけど、おなかのところはつるつるしてる！」など、ワニの剥製に面白さを感じていました。

最後に、後期課程の裏庭に出ると、いろいろな石がたくさんあって子供たちのテンションも最高潮！丸い石、つるつるした石、黒っぽかったり、ゴツゴツしたりなど、様々な石を手に取りながら「おにぎりみたいな形だね」「これはハートみたいだよ」と、お気に入りの形を見つけたり、「このカエルと同じ模様の石がある」と、カエルと同じ模様の石を発見したり、「ここに太陽の光を当てるとキラッと光ったよ」「この石にある線の模様は水が流れているみたいだね」と、石の模様に関心を高めたりなど、自分と出会ったお気に入りの石を、お土産にいただいて帰りました。

今回の体験では、普段なかなか出会うことのない貴重な石や生き物、剥製と触れ合うことができ、子供たちにとって楽しい時間となりました。しかし、楽しかった背景には、心が揺さぶられるような環境に呼びかけられ、環境を面白いと感じる人との出会いと関わりがあり、自らが五感で試す経験があったからではないかと感じました。出会って気付いて好きになっていく瞬間が、様々な場面に詰まっていたように思います。この子供たちの発意が今後の遊びの中で、何層にも膨らんでいけるようにしていきたい！とワクワクする気持ち、そして伴走に迷走する自分（保育者）がいます。（笑）

初めての後期課程では、こんな面白エピソードも！後期課程の校舎に入ると、「なんか階段、高くない？」と前期課程との違いを感じたり、「このマーク何？」と幼稚園あまり目にすることのないトイレの男女のマークが気になったりなど、子供の面白い感覚に改めて出会い、気付き、そのことが好きになった保育者たちでした。

